

報道関係各位

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

次世代モビリティ共同ポート「E-COM Station[※]」の設置実験を実施します

株式会社オリエンタルコンサルタンツ(代表取締役社長：野崎秀則)は、仙台駅東まちづくり協議会(所在地：宮城県仙台市、理事長：松坂卓夫)を代表団体とする社会実験のワーキンググループに参加しており、この度、仙台市の宮城野通において、シェアサイクルや電動キックボードなどの多様な移動手段(モビリティ)の円滑で安全な利用を促すとともに、滞在者の利便性や回遊性を向上させる拠点(共同ポート)を仮設設置する社会実験を行いますのでお知らせいたします。

当社は、今後も、交通政策、交通技術の観点から地域の規模や地域特性に応じた交通まちづくりを行い、地域づくりの政策立案など地方創生を推進して参ります。

※「E-COM Station(イーコムステーション)」は、東北福祉大学学生の発案による共同ポートの愛称です。

E(東口: East) + CO(共同: Community) + M

移動手段: Mobility
情報媒体: Media
回遊: Migration

 + Station(拠点)

【社会実験の目的】

仙台駅東まちづくり協議会では「住む・働く・楽しむ・学ぶが混在した多様なアクティビティがあるまち」を将来像として掲げ、今後も住む場所、働く場所として選ばれる地域であり続けることを目指し、歩いて楽しいまち、自分らしいワーク・ライフスタイルが実現できるまちなど、さまざまな社会ニーズに対応しながら、このエリアならではのまちづくりを進めていくこととしており、今回の社会実験は、この将来像の実現に向けて、宮城野通の利活用可能性を検討するために、国土交通省の支援を受けて実施するものです。

【社会実験の概要】

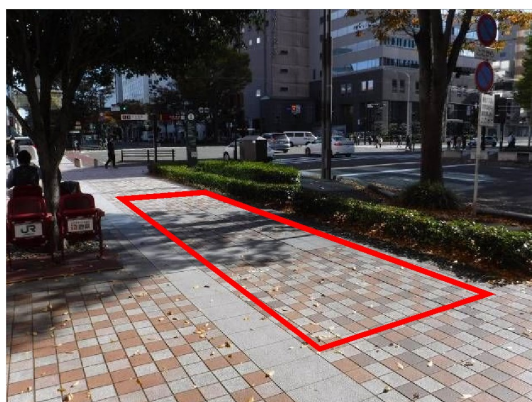
- ・期間：2021年11月26日(金)から2022年度末までを予定(実験内容により開始時期は異なります)
- ・実施場所：宮城野通(仙台市)



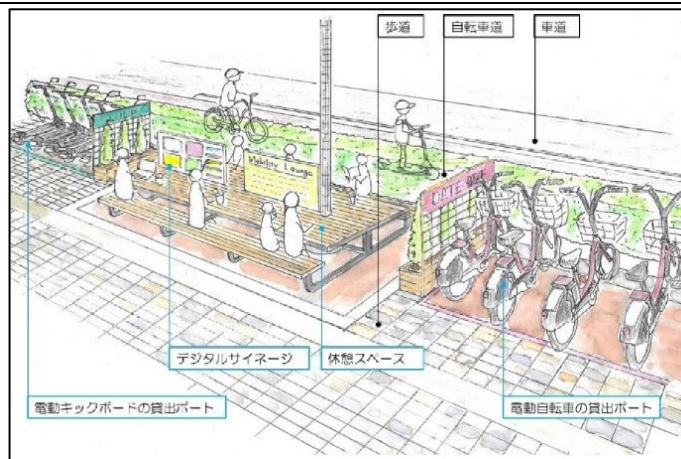
表 社会実験の実施内容

▼実験メニュー・実験内容

社会実験メニュー	実験内容
モビリティ共同ポートの設置実験	休憩施設、情報発信機器、Wi-Fi 設備、給電設備を備えた共同ポートを設置し、利便性や運営等に係るコストを検証
複数種類の移動手段の導入実験	キッチンカー（R3.8月より実施中）、シェアサイクル、AI 自動運転車いす、電動キックボード（R4より実施予定）等を導入し、カメラ撮影及び画像分析により、複数種類の交通モードが同時に混在したときの走行安全性を検証



宮城野通（東北福祉大学前）の現状



モビリティ共同ポート「E-COM Station」のイメージ

▼実験項目・実施時期

実験項目		実施時期
利便性向上支援策の検証	モビリティ共同ポートの設置	令和3年11月26日から使用開始予定
	キッチンカー出店事業	令和3年8月から実施中
走行安全性の検証	シェアサイクル (DATEBIKE)、AI 自動運転車いす、電動キックボード等の走行実験	令和3年11月26日以降、関係機関との協議が整ったものから順次実施予定
	AI カメラによる撮影・分析	共同ポートの設置や各走行実験の実施に合わせて、隣接するビルよりカメラで定点撮影

※具体的なスケジュールは、仙台駅東まちづくり協議会のホームページ等でお知らせする予定です。

【実施体制について】

実施：仙台駅東まちづくり協議会

後援：仙台市

オブザーバー：国土交通省東北地方整備局 仙台海川国道事務所

事業協力：株式会社オリエンタルコンサルタンツ／株式会社 Luup／株式会社ドコモ・バイクシェア／学校法人梅檀学園 東北福祉大学／ユアキッチン実行委員会／ニューラルポケット株式会社／アンデックス株式会社／大日本印刷株式会社／（順不同）

【(株)オリエンタルコンサルタンツの役割】

・社会実験全般に関する調査・分析・評価

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 宮内、丸山